

アグリ筑西 2023 1月号

あけましておめでとうございます。
本年もアグリ筑西をよろしくお願ひいたします。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! ↑

かんしょの栽培にチャレンジしてみませんか

県西農林事務所では、かんしょの栽培にチャレンジする生産者を応援しています。新たに栽培してみたい、面積をさらに拡大したいという生産者のために「かんしょ生産拡大セミナー」を開催します。当日は栽培事例をスライドで紹介するとともに、栽培ポイントや支援策をわかりやすく解説します。ふるってご参加ください。

かんしょ生産拡大セミナー

日時：令和5年2月16日（木）13時30分～16時

場所：県西生涯学習センター多目的ホール（筑西市野殿1371）

＜内容＞ ・県西地域におけるかんしょの取り組み事例
・栽培のポイント など

お問い合わせ先
筑西普及センター担当：小山田

スイカ退緑えそ病について

スイカの退緑えそ病は、ウイルス病で、ウリ科作物の葉を黄化させ、スイカでは葉の黄化、壊死および小玉化を引き起こすことが報告されています。このウイルスはタバコナジラミバイオタイプQによって媒介されます。数年前から管内で発生が確認されており、昨年も発生が確認されました。

タバコナジラミは、トマトでも黄化葉巻病ウイルス（TYLCV）の媒介でも知られ、昨年は管内スイカ後作の抑制トマトでも黄化葉巻病によって多くの生産者が被害を受けました。

スイカでも退緑えそ病の被害が出ていることから、コナジラミ防除はスイカ栽培の時期からしっかりと行いましょう。



冬も本番となりました。降雪による被害を出さないために、**事前の点検をお願いします。**

事前準備

- 降雪が予想される場合は、屋根被覆資材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物がないかを事前に点検しましょう。特に、**防風ネットや外部遮光資材等は忘れずに撤去しましょう。**
- 外張り被覆資材のたるみや破れは、雪の滑落を阻害するので、降雪前に補修しましょう。
- 散水による除雪・融雪は、雪の積雪を防ぐ目的で積雪前から行う場合は有効ですが、積雪後に行くと水を含んだ雪の重量が予想外に増大し、施設の倒壊を引き起こす可能性があるため、**積雪後は実施しないように**しましょう。

降雪時の処置

- 降雪初期において屋根への積雪がほとんどみられない場合は、**安全を確認した上で**除雪作業や加温機等の起動を行きましょう。ただし、屋根への積雪が確認できる場合は**施設崩壊の可能性があるので内部への侵入は控えましょう。**
- 屋根に積雪した場合、速やかに雪下ろしを行い、被覆資材が雪でたるみ、滑落困難になるのを防ぎましょう。
- 暖房機等が設置されている場合は、内部被覆（二重カーテン）を開放した上で可能な範囲で施設内の室温を高めることで、屋根雪の滑落を促進しましょう。設置されていない場合は、内部被覆を開放し、地熱の放射により室温を上昇させましょう。

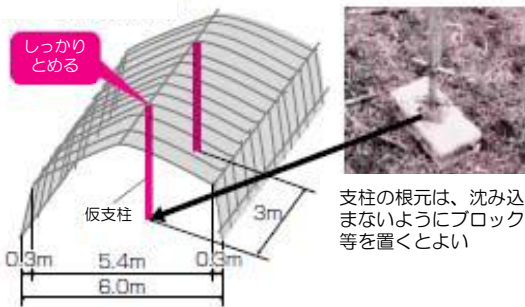


図1 支柱による補強

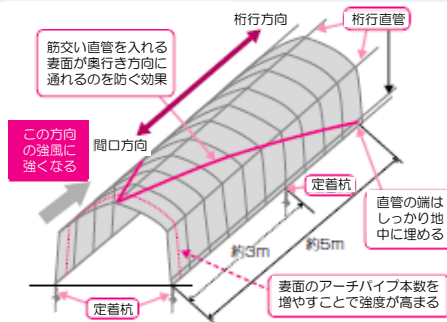


図2 筋違い直管による補強

対策の詳細は、茨城県農業総合センターHPの技術対策ページに雪害対策が掲載されていますので、参考にしてください。



R4年度の水稲（コシヒカリ）の概況について

管内の定点圃場（コシヒカリ）では、5月上旬の移植時期～6月中旬までやや低温・低日照の傾向で推移したため、分けつ時期の草丈は短く、莖数・葉色は平年並みからやや少なく（淡く）になりました。6月下旬の幼穂形成期から7月下旬は高温・多照傾向となったことから生育が進み、葉色が淡く推移し、出穂期は平年並みからやや早くなりました。8月上旬から9月上旬の気温は平年並み・低日照となり登熟日数は平年並みから2日多くなりました。

全体的に稈長、穂長はやや短く、穂数、千粒重、収量は4月下旬移植では低下し、5月上旬移植では平年並みとなりました。品質では、7月下旬～8月中旬まで27℃以上の高温が続いたことにより白未熟粒が増加し整粒歩合が低下しましたが、4月下旬移植の早植えほど大きく低下しました。

次年度の対策

- ★「コシヒカリ」を作付する場合は、収量品質を確保するため、**5月5日以降に移植し無駄な分けつや高温障害を減らしましょう。**
- ★登熟期の高温障害を避けるため「にじのきらめき」等の高温耐性の高い品種を導入しましょう。

表1 水稲定点ほ場調査結果(品種:コシヒカリ)

調査地点	移植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	登熟日数 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	有効莖歩合 (%)	籾数 (粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	玄米重 (kg/10a)	整粒歩合 (%)	白未熟粒 (%)
筑西市	5/5	7/27	9/7	42	92	18.4	404	83	34,744	75	21.3	522	51	19
一本松	(5/3)	(7/28)	(9/6)	(40)	(98)	(19.0)	(393)	(69)	(32,619)	(73)	(21.1)	(537)	(70)	(11)
桜川市	5/4	7/27	9/5	40	91	18.8	395	71	31,166	86	21.6	584	55	24
真壁町飯塚	(5/5)	(7/30)	(9/7)	(39)	(95)	(19.2)	(392)	(69)	(32,536)	(78)	(21.7)	(575)	(68)	(12)
下妻市	4/30	7/25	9/2	39	94	18.2	396	64	31,720	79	20.5	495	40	33
加養	(5/1)	(7/25)	(9/2)	(39)	(99)	(19.1)	(415)	(68)	(34,445)	(72)	(21.0)	(550)	(65)	(14)

※ ()内は過去5カ年平均値。白未熟粒は、乳白粒、基部未熟粒、腹白粒の合計値。